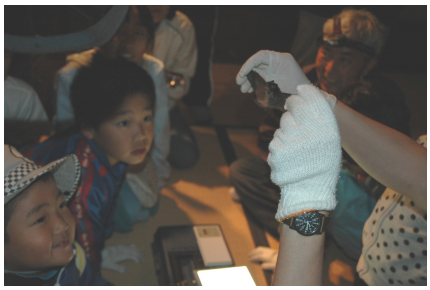
郷土資料館 ふるさと講座・自然系第２回目の様子

コウモリ観察会

と　　き　　平成２５年７月１９日（金）
　　午後６時３０分～８時３０分
と　こ　ろ　　国指定史跡　旧奥行臼駅逓所
講　　師　　近藤憲久氏（道東コウモリ研究所主宰）森利博氏
参加者数　　１６名

駅逓内で、道東地方のコウモリのお話しを聞きました。世界では 1，000 種、北海道では 19 種、別海町では 11 種のコウモリが確認されているようです。また、コウモリは一日に蚊を 500 匹位食べ、鳥よりも害虫駆除に役立つとのことでした。

その後、駅逓裏に移動し、設置したかすみ網の前でコウモリが飛び立つのを待ちました。日が暮れると、かすみ網に一斉にコウモリがかかるようになり、網からはずす作業も大変でコウモリが網を食いちぎろうとしている様子もじっくりと観察出来ました。捕獲後、室内にて、種別同定、計測などを行いました。捕獲されたコウモリは、ホウヒゲコウモリ、ウサギコウモリこの 2 種は、駅逓に住み着いている種なのですが、もう 1 種キタクビワコウモリを捕獲することが出来ました。参加者はまじかで、コウモリを見て、写真を撮ったり、翼手にさわったりと子供も大人も大興奮した観察会になりました。